

灯



以前、製造物責任法（PL法）が制定されたころ、製造業にとつて大変脅威となる法と受け取られ、この法律で倒産する会社が続出すると騒がれた。振り返るとこの頃から周囲へ責任を転嫁する風潮が強まったように感じる。

近年は食品の生産地域や賞味期限はしっかりと記され消費する側にとつては大変ありがたいことだが、その結果食べられる物が大量に廃棄される時代にもなった。加えてこの頃から、いわゆるクレーマーという存在が増加してきたように思える。

もちろん欠陥品を作るのは論外で、失敗を糊塗したり隠蔽したりすれば大変な追及を受け、ともすれば組織の崩壊につながるかねない。結果生

き残るため危機管理対策が必要だということになる。責任者たちが報道陣の前で頭を下げるシーンもしばしばだが、下げ方や下げる時間などを指導するコンサルタントが繁盛しているらしい。

本来人間は生きていくための自衛本能を持っているはずだ。食べて良いかどうか、紛



草野 義輔

争中の地域に行つて良いか悪いか、さまざまな場面で人は自らの判断で行動しなければならぬ。最近あらゆることを周囲の責任にして、ひたすら不満やクレームを押し付けることが多過ぎないだろうか。マスクも便乗し過ぎていないか。

全てとは言わないが、もう少し自己責任ということ再認識しても良いように思えてならない。（昭利学園高校理事 長・日田市）